

PDA 青森県高等学校即興型英語ディベート交流大会 2022

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022 年 7 月 23 日 (土) 12:00-16:00

会場：オンライン (Zoom)

参加校：5 校、10 チーム (青森県立青森高校、青森明の星高校、八戸聖ウルスラ学院高校、
青森県立青森南高校、青森県立八戸高校)

参加者：生徒 31 名、教員 9 名

スタッフ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ・青森高校、PDA 認定教育ジャッジ・青森南
高校、三本木高校、木造高校

開会式では、青森県教育研究会外国語部会長・青森南高等学校長の久保田千夏先生より、「志を同じくする仲間とディベートを通じた交流を楽しんでください。」とご挨拶いただきました。

次に、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) スタッフより、参加校の紹介、ルールの復習、評価基準の説明などが行われました。ルールの復習では、相手チームのスピーチ中に質疑応答を要求することができる POI (Point of Information) について練習を行いました。スタッフの「せーの！」の合図に合わせて、ディベート本番のようにミュートを解除し、「POI！」と言いながら、片手を頭に乗せ、もう片方の手を伸ばす POI のポーズをすることができました。



久保田校長先生によるご挨拶



全員で「POI！！」

POI の練習が終わると、早速第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は「**Cosmetic surgery should be banned. (美容整形を禁止すべきである。)**」でした。準備時間が終わると、ジャッジを務める青森県内の高校の教員の進行のもと、ディベートが始まりました。



八戸聖ウルスラ学院 B VS 青森南 A



青森 A VS 八戸聖ウルスラ学院 A



青森 B VS 青森南 B

肯定側は、美容整形が失敗するリスクや、何度繰り返し美容整形をしても満足できないという問題について、否定側はコンプレックスを克服する手段としての重要性や、選択の自由について説明しました。ディベート中、POIを通した質疑応答が活発に行われ、相手チームの主張の根拠についてや具体的事例についてたずねる様子も見られました。



青森 C VS 八戸 A



八戸 B VS 青森明の星

ディベートが終わると、画面越しにエアー握手を交わし、お互いのスピーチについてや英語のスピーキングについて話すなど交流を深めました。



エアー握手を交わします（八戸聖ウルスラ学院 B・青森南 A）



ジャッジのコメントを待つ時間に交流を深めています（青森 A・八戸聖ウルスラ学院 A）

ディベートが終わると、ジャッジから、勝敗、勝敗の理由、個人コメント、ベストディベーター、POIの発表などフィードバックが行われました。

特に個人コメントでは、一人一人に良かった点と改善点が提示され、生徒は次のディベートに活かそうとメモをとる様子が見られました。

続く第2ラウンドのお題は、「*It is better to study abroad during high school days than after entering university in Japan.* (留学するなら、大学入学後よりも、高校在学中にしたほうがよい。)」でした。高校のうちから明確な目的を持って留学をすることができるのかどうかや、留学中のリスク回避のために大学生になってからがいいのではないかといった点について議論しました。第1ラウンドも白熱した議論でしたが、さらに甲乙のつけ難い、熱い議論となりました。



青森南 B VS 八戸 A



青森 C VS 八戸聖ウルスラ学院 B



POI ! (八戸聖ウルスラ学院 A)

POI ! (八戸 B)



青森 B VS 青森南 A



ディベート後の交流の様子 (青森 A・八戸 B)



ディベート後の交流の様子（八戸聖ウルスラ学院 A・青森明の星）



ジャッジによるコメント（青森南 B・八戸 A） ジャッジによるコメント（青森 B・青森南 A）

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*Ranking children in sport events at kindergartens and elementary schools should be abolished.* (園や小学校の運動会での順位付を廃止すべきである。)」でした。両チームとも、スポーツや運動会の目的についてや、運動が苦手な子どもにとってコンプレックスとなるのか、むしろ成長を促すのかについて深く分析し、堂々としたスピーチを披露しました。勝敗はエキシビジョンディベートを聞いていた生徒が挙手で投票し、Government（肯定側）の勝利となりました。最後にエキシビジョンディベーターが本日の感想を述べ、交流大会が終了しました。



エキシビジョンディベートの様子



ディベート後のエアー握手

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・ PM 青森明の星高校  さん
- ・ LO 八戸高校  さん
- ・ MG 八戸聖ウルスラ学院高校  さん
- ・ MO 青森高校  さん
- ・ LOR 青森南高校  さん
- ・ PMR 青森高校  さん



エキシビジョンディベータ賞

〈チーム賞〉

- 1 位 青森高校 A
- 2 位 青森高校 B
- 3 位 八戸聖ウルスラ学院高校 A
- 4 位 八戸高校 A
- 5 位 八戸聖ウルスラ学院高校 B



1 位 青森高校 A



2 位 青森高校 B



3 位 八戸聖ウルスラ学院高校 A



4 位 八戸高校 A



5 位 八戸聖ウルスラ学院高校 B

〈ベストディベーター賞〉★は2回選ばれた生徒

- ・ ■■■■■さん（八戸聖ウルスラ学院 B）★
- ・ ■■■■■さん（八戸聖ウルスラ学院 A）★
- ・ ■■■■■さん（青森明の星）
- ・ ■■■■■さん（八戸 B）
- ・ ■■■■■さん（八戸 A）
- ・ ■■■■■さん（青森 B）
- ・ ■■■■■さん（青森 B）
- ・ ■■■■■さん（青森 A）
- ・ ■■■■■さん（青森 A）
- ・ ■■■■■さん（青森南 B）
- ・ ■■■■■さん（青森南 A）



ベストディベーター賞

〈POI 賞〉★は2回選ばれた生徒

- ・ ■■■■■さん（八戸聖ウルスラ学院 A）★
- ・ ■■■■■さん（八戸聖ウルスラ学院 B）
- ・ ■■■■■さん（八戸聖ウルスラ学院 B）
- ・ ■■■■■さん（八戸聖ウルスラ学院 A）
- ・ ■■■■■さん（青森明の星）
- ・ ■■■■■さん（八戸 B）
- ・ ■■■■■さん（八戸 A）
- ・ ■■■■■さん（青森 C）
- ・ ■■■■■さん（青森 C）
- ・ ■■■■■さん（青森 B）
- ・ ■■■■■さん（青森 A）
- ・ ■■■■■さん（青森南 B）
- ・ ■■■■■さん（青森南 A）



ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

（生徒の声）

- ・初参加でしたがとても楽しかったです。（青森高校）
- ・相手高校と実践して、自分達が普段考えつかないアイデアを知れて面白かったです。（青森南高校）
- ・聞き取れない所があったのは悔しかったけど、やっぱり挑戦できる場所っていいなって思いました♡（青森南高校）
- ・その場で考えたことを英語で言うのが楽しかった。（八戸高校）
- ・英語が伝わっていると実感できて嬉しかった。（八戸高校）
- ・初めて他の高校とディベートして緊張したけど面白かったです。（青森南高校）
- ・具体例などを入れて説明をするのは難しかったけど自分の言葉で上手くまとめて話すことができたし、勇気を持って質問できてよかったです。（八戸高校）
- ・難しかったんですが、アドバイスを貰えたり、他の高校と初めてディベートをしてみて勉強になりました。英語力と論理的に考える力を向上して、もっとディベートを上手くできるようにしたいです。（青森南高校）
- ・とても楽しかったです。今まで自分の意見を積極的に発表する機会があまり無かったけれど、今回自分の思ったことを発表する経験が出来て、有意義な時間にすることが出来ました。もっと英語力を上げたいです。（八戸高校）
- ・自分とは違う意見があり面白かった。（八戸聖ウルスラ学院高校）
- ・初めて参加したけど短い時間の中で準備したり、考えたりするのがとても楽しかったです。（青森高校）
- ・非常に充実した時間でした。英語を論理的に話すだけでなく、POIなどの発言も積極的に行うのが真のディベートだと思いました。（八戸聖ウルスラ学院高校）
- ・まだ始めたばかりではあったものの、仲間と考えながらいいディベートをすることが出来たと思います。また、他校の生徒さんとお話するのが楽しく、もっと英語やディベートが上手になってまた出場したいと思いました。（青森高校）

（教員の声）

- ・他校ではディベートの取り組みがとてもされていて、感動しました。本校でも出来るように指導したいと思いました。
- ・久しぶりのディベートジャッジでしたが、やはり深いアクティビティだと思います！自分自身もクリティカルシンキングできるように頑張ります！
- ・生徒たちが、良い経験ができた。
- ・さまざまな意見、アイデアを聞くことができ、なるほどと思うこともあって勉強になった。
- ・全て初めてのため、刺激的でした。アトホームな大会運営でした。
- ・とても為になった。県のレベルが向上しているのが知れた。
- ・大変勉強になり、授業にも活用できそうです。